令和２年度主任相談支援専門員養成研修　事前課題

【地域援助の具体的展開Ⅰ】

第5期障害福祉計画の成果目標とされており、各市区町村でも取り組みの急がれる課題として、「地域生活支援拠点の整備」が挙げられます。活動する市区町村の、現在の「整備に向けた取り組みの状況」や「課題となっていること」、または「整備後の課題やその解決に向けた取り組み」について、下記項目も参考の上、記載して下さい。

圏域名：　　　　　　　　（事業所名：　　　　　　　　　）　　氏名：

１　地域生活支援拠点（の整備）について、地域全体でその目的を共有している。

２　地域生活支援拠点（の整備）における現状と課題を整理している。

（１）地域のストレングスの整理（含　インフォーマルな資源・住民のネットワーク）

（２）個別支援を通した課題の整理・障害児者のニーズの整理

（３）機能別アセスメントによる整理

①　相談機能　②　緊急時の受け入れ・対応の機能　③　体験の機会・場の機能　④　専門的人材の確保・養成の機能　⑤　地域の体制づくりの機能

（３）関係者のヒアリングによる整理

（４）協議会を活用した議論の整理

（５）整備（運営）方針や数値目標の整理

３　地域生活支援拠点（の整備）において、各機関が重層的、相補的な連携体制を構築している。

４　地域生活支援拠点（の整備）を推進するため、協議会に専門部会やプロジェクトチームを組織して、具体的取組みを検討するとともに、その検証も行っている。

５　地域生活支援拠点（の整備）を推進するうえで、行政や関係機関の組織責任者のリーダーシップがある。

６　地域生活支援拠点（の整備）を推進するための計画（達成目標、戦略、スケジュール等）がある。

令和２年度主任相談支援専門員養成研修　事前課題

【地域援助の具体的展開Ⅱ】

現在、支援を展開しているケースから2事例を選定し、事例毎の地域課題を３つ以上抽出して下さい。

圏域名：　　　　　　　　（事業所名：　　　　　　　　　）　　氏名：

|  |  |
| --- | --- |
| 事例（例） | 年齢：46　　性別：女　　障害名：精神　　手帳：1級　　障害支援区分：４  利用福祉サービス：自立生活援助  事例概要：幻覚妄想活発（両親に対する被害妄想もある）　対人関係が苦手でひきこもりがち　両親が亡くなったら単身になるので、孤独感や不安が強い　治療に対しては拒否的だがなんとか服薬はできている　お菓子作り、料理、編み物が得意  ニーズ：自分を助けてくれる人がほしい　自分ができることで人に喜んでもらいたい  　　　　障害のある人ばかりが集まる場所には行きたくない  ※その他、必要と思われる事項 |
| 地域課題 | 1. 定期的に誰でも参加できる40～50歳代の女子会をしている場所がない 2. 手編みの小物をつくるワークショップができるような場所がない 3. 家族と距離を置くための精神障害でも使えるショートステイがない |
| 事例１ | 年齢：　　　性別：　　　障害名：　　　　手帳：　　　　障害支援区分：  利用福祉サービス：  事例概要：  ニーズ：  ※その他、必要と思われる事項 |
| 地域課題 |  |
| 事例２ | 年齢：　　　性別：　　　障害名：　　　　手帳：　　　　障害支援区分：  利用福祉サービス：  事例概要：  ニーズ：  ※その他、必要と思われる事項 |
| 地域課題 |  |

令和2年11月末日までに、事務局へ添付メールにて事前提出して下さい。

E-mail： [kadai-teishutsu@amail.plala.or.jp](mailto:kadai-teishutsu@amail.plala.or.jp)